

## 日本共産党

反対

### ○公共用地特別会計、下水道事業会計に賛成、他は反対

▽国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料が引き上げられます。また、家庭系ごみの一部有料化と公共施設に付帯する駐車場の有料化が継続されます。連続する物価高騰や異常な円安などで、暮らしの厳しさが既に限界に達している市民に、市が負担増を強いることは認めることができません。

▽指定管理者によって運営されている市立図書館は、さまざまな問題に対して、対応可能な範囲で改善が図られてはいますが、公立図書館として抱えている基本的、根本的な問題の解決には至っていません。カルチュア・コンビニエンス・クラブ社を含めた営利を追求せざるを得ない民間の企業に運営を任せることは、地域の文化および知の拠点として、中長期的な視点での発展や継続性を保障することができないという点を、明確に表明するものです。

▽図書館以外にも、市民サービスの重要かつ最前線である市民窓口や福祉窓口、子どもたちの食の安全と健やかな成長を保障する学校給食調理などを、指定管理者制度や業務委託により民間営利企業に委ねることも問題です。直営により責任もって安定して行うことが必要不可欠です。

▽令和6年度も引き続き、マイナンバーカードの普及促進や利活用のための環境整備などを進めるとされています。マイナンバーカードと健康保険証の一本化によるトラブルは、他人の医療情報がひも付けされてきたなど命にかかわる危険もあり、あつてはなりません。国が導入し推進しているマイナンバー制度であり、地方自治体として対応せざるを得ないという面はあるとはいえ、本市の同制度への公費支出および事務執行を認めることはできません。



市立中央図書館

## 涼風の会

反対

### ○一般会計、介護保険事業特別会計に反対、他は賛成

▽市役所周辺地区の開発には、これ以上、海老名の自然をなくさないでほしいという市民の声が上がっています。気候危機が私たちの生活を揺るがす事態にある今は、経済発展や都市開発よりも、気候危機への対応を優先すべきタイムリングではないでしょうか。開発を進めるとしても、ゼロカーボンシティ達成に向けた数値目標を開発計画にいかし落とすし込むかなど、市民との協働と環境保全の観点を積極的に取り入れることが必要だと考えます。

▽海老名駅東口の自由通路延伸は、資材の高騰などで事業費の増加も懸念され、このまま進めることには賛成できません。車中心社会からの転換は避けられないと思いますので、回遊性を高めるためには、歩道や自転車道を広くするなど歩きたくなるまちづくりが必要と考えます。

▽公園は市民の共有財産で、みんなの居場所、遊び場になるものです。(仮称)大谷・杉久保地区公園などの新設事業では、計画段階から市民と共に取り組むことで、本当に必要なとされる公園ができるのではないのでしょうか。そのような仕組みづくりは、市民が自治に参加するという観点からも大切ですので、今後、検討をお願いしたいと思います。

▽保育園の拡充について、市は将来的な保育需要の減少が見込まれるため、積極的な民間誘致は難しく、マンシヨン建設企業に保育所整備を求めることの条例化などは、開発抑制になるため慎重な判断が必要としていきます。これは住民よりも企業に重きを置いているのではないかと指摘せざるを得ません。今、目の前で保育所不足により、生活を変えなければならぬ人がいることに、もっと寄り添った対応をしていくことを強く求めます。



## 立憲民主えびな

賛成

### ○全ての会計予算に賛成

▽SDGsの観点から予算を見ますと、ジェンダー平等の視点では、女性の比率が大変多い会計年度任用職員への勤勉手当支給は、処遇改善に向けて進んだことを実感するもので、さらなる処遇改善に繋がることが期待します。▽困難な問題を抱える女性支援推進事業費の国庫補助金、歳出のDV・女性相談事業費の増額も評価します。複合的な要因から相談を必要とする方の力となり、職業差別や人権問題に注意を払っていただきながら傾聴と寄り添った相談が解決につながるよう期待をしております。

▽気候変動の視点では、市役所前の電気自動車急速充電器が更新されますが、市民の方々が安心してEV車を使い続けられる世になることを期待します。また、再生可能エネルギーの利用をさらに拡大するよう環境基本計画推進事業費の充実を求めます。▽ユーバスの実証運行は、高齢者や子育て世代の移動だけではなく、環境省が求める「マイカーから公共交通機関等の低炭素な交通手段への転換」の観点からも非常に強みのある事業であると考えます。

▽中学校の完全給食が始まります。保護者がお弁当の悩みから少しでも解放され、子どもたちも栄養豊富で温かな食事で、午後からの授業にも部活にも力が発揮できるよう大変期待をしております。物価高の影響を軽減する給食費の一部公費負担も大変評価しております。▽小学校スペシャルサポートルーム事業では、全ての子どもたちに学びを保障するため支援員が強化されます。県からフルインクルーシブ教育推進市町村に指定され、先進的な取り組みを進めていく都市となりました。全ての子どもたちが学べる環境整備が海老名から始まることを期待しております。

